

枚方中国語を学ぶ会だより

2022年5月号
枚方中国語を学ぶ会

新しい仲間を向かえて2022年度学習がスタート

活躍する元会員

大連交通大学で日本語を教える武田憲治さん
(元上級Ⅰ、Ⅱ班)



皆さんお元気にお過ごしでしょうか。

私は今、縁あって中国の大連の大学で、日本語教師として元気に過ごしています。コロナの影響で振り回される日々ですが、何とか踏ん張っています。

ところでこちらに来てすぐに、ボランティアで日本語サークルを始めました。ちょうど皆さんの会の中国版と言えるでしょうか。毎週土曜日の午後、クイズをしたりフリートークをしながら楽しく日本語を学びあっています。

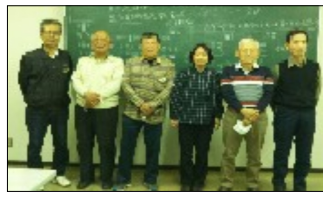
当初は中国の友人2人と私で始めましたが、今はスタッフ9人体制となり、会員は小学生から初老の方まで190人程になりました。大学では学生相手に、週末はボランティア活動ができ、幸せな時間を過ごしています。

皆様もコロナ禍ではありますが、お体に気を付けて、中国語を楽しく学んでください。日中友好の為に、私も微力ながら張ります！

(武田憲治さんからのお願い)



老師と共に頑張るゾ！



写真は、左上が入門班、右上が初級班、左中が中級班、右下が上級Ⅰ班、左下が上級Ⅱ班



この2年間新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や蔓延防止措置によって学習会場である市民会館や生涯学習センターなどが休館になり、私たちの活動も休会しなければならなかったり、リモート学習に切

り替えるなど、大きな制約を受けました。

しかし、そんな中でも各班の仲間や老師が知恵を出し合い、何とか学習を続けてきました。

感染拡大もやや落ち着き、2022年度、すべての班で対面授業で新しいスタートを切ることができたことは喜ばしい限りです。今年度もしっかりと学習しましょう。

西川会長の 中国語余話⑱

発音をしっかり学ぶ

外国語の基礎は、言わなくてもわかるように発音です。発音が不正確だと当然相手は理解してくれません。中国語は我々にとって外国語です。初心者は、まず他の外国語と同じようにじっくり発音に取り組んで欲しいと思います。

以前、大学の研修で中国語専修の学生を北京の大学に連れて行きました。その時、相手大学の食堂にいと、中国語がよくできるはずの学生が、「先生来て！ 通じない！」と言って来ました。何を

注文したいのか聞くと、「玉子スープ」だと言うので、食堂のおばさんに私が言うと、問題なく通じました。私もよくできる彼女の中国語がなぜ通じなかったのかとても不思議で

玉子スープは、中国語で「jidan tang (鸡蛋汤)」と3つの音節だけですが、日本語のカタカナ「チータンタン」ではなかなか分かってもらえないでしょう。中国語は、「チー」では2種類、「タン」では4種類、「タン」も同じ4種類、それぞれ別の音節があります。

外国語として捉えて、まずはそれぞれの音をじっくりマスターして欲しいと思います。